

事業番号	事務事業名	住宅リフォーム事業補助金	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04344	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	商工観光係	担当者・シート作成者	森腰 怜佳
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町住宅リフォーム事業補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の建築業者により、既存住宅本体の維持又は機能の向上を目的とする改築や、改修を行った場合の経費の一部を補助することにより、町民の住環境の改善の推進はもとより、地域経済の活性化を図り、中小企業者の振興に資することを目的とする。 町内の施工業者が行う20万円以上の改修工事に対し、補助率を補助対象経費の20%とし、限度額を20万円までとする。鏡野町産木材を使用した場合、材積に応じて最大10万円を加算する。	以前から岡山県建設労働組合苫田西支部より、建築業者、中小零細業者の経済環境の底上げに住宅改修補助金制度を町が導入するよう要望がなされており、平成26年、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、地方消費喚起・生活支援型交付金が導入のきっかけとなり、平成27年度から開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 既存住宅の居住部分を改修する者	ア 住宅改修戸数		見込 実績	30 46	30 56	30 51	30	30
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内業者による施工の推進	ア 申請戸数		目標 実績 達成率	30 46 153.3%	30 56 186.7%	30 51 170.0%	30	30
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 補助金交付	ア 啓発(広報紙、町ホームページ)		目標 実績 達成率	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2 2 100.0%	2	2
イ	イ 補助金交付金額		目標 実績 達成率	6,000 6,715 111.9%	6,000 8,960 149.3%	6,000 8,324 138.7%	6,000	6,000
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 07		項 01		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		商工費		商工費		商工振興費		12	01	住宅リフォーム事業補助金					
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	7,200	9,034	11,000	7,000	7,000	1,966	一般財源	6,715	8,960	8,324	7,000	7,000	-636			
合計	7,200	9,034	11,000	7,000	7,000	1,966	合計(A)	6,715	8,960	8,324	7,000	7,000	-636			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	120	120	120	120	120				
							人件費計(千円)(B)	420	401	402	411	411	1			
	最終予算額		11,000 千円		予算執行率		75.6%	トータルコスト(A+B)	7,135	9,361	8,726	7,411	7,411	-635		
主な支出事業内容(予算)	補助金					11,000 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金					8,324 千円			

事業番号	04344	事務事業名	住宅リフォーム事業補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
昨年度と同等の申請数であった。当初予算を上回る支出となり、補正予算を組んだ。事業の認知度が向上してきており、申請数が安定している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
町産材使用により補助金の上乗せ交付を行い、町産材使用の促進をしている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
申請等手続きの簡素化、町外業者によるリフォームも対象とできるようにすることを要望されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 政策・施策に直結する事業とする場合、町内事業者利用という制限を撤廃した方が申請数は増加すると思われる。実際に「住宅を建築した業者でないとリフォームできない」という意見が住民から寄せられた。従来通り町内事業者の利用を申請条件とする場合は、現在の政策・施策に商工業の振興を加えることも検討できる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町民の住環境の改善、向上に税金を投入することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 本町に住民登録若しくは外国人登録を有する個人を対象としており、妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 一定数のリフォームが申請されており、現在の目標は達成している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 本事業により住民はリフォームの検討がしやすくなり、申請にも繋がっているため、事業の中止はできない。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 申請等に関する事務手続きのみであり、最低限の職員人数で行っているため、改善余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金額の上限を定めており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 申請等に関する事務手続きのみであり、最低限の職員人数で行っているため、改善余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町民が申請の対象であり、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																					
A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	当初予算を上回る申請額となり、事業の必要性は大いにある。年度に一度限りの申請としているが、毎年度申請をされ、同一人に多額の補助金が支払われているケースもあるため、一部要綱の再検討の必要がある。前述のとおり、施工業者を町内事業者に限らないことで、政策・施策に直結することが考えられる。																					
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																						
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																						
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																					
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																						
総合戦略との調整																						